

2025年12月16日

株式会社アイキャスト 第39回番組審議委員会 議事録

■日時： 2025年12月16日(木) 17:00~18:00

■場所： オンライン会議で実施

■出席者： 番組審議委員 板東 浩二 様 (委員長)
今別府 亮 様
トム ベリー 様
池田 昌史 様

アイキャスト 永田 勝美 (代表取締役社長)
荒木 孝広 (取締役経営企画部長)
占部 政志 (メディア戦略部 編成担当部長)
和出 誠司 (経営企画部 事業戦略担当部長)
桜庭 正樹 (経営企画部 事業戦略担当課長)
兼子 賢太 (経営企画部 事業戦略担当主任)
小林 慎一郎 (顧問)

■議事内容

1. 番組審議

(1) Lemino ボクシング トリプル世界タイトルマッチ

- ① ボクシングを戦略的に Lemino で無料提供しているのは、新規層獲得や有料会員増加に効果があると思う。SNS や煽り映像の活用がファン拡大の鍵。新たな取り組みなどあれば教えてほしい。
⇒煽り映像は Lemino でも制作している。また、最近ドコモではグッズ販売などに力を入れてきている。
- ② アメリカでは QR コードがプロモーションで使われてきている。日本のスポーツ配信でも導入できるのではないか。グッズ販売への応用もできるのでは。
⇒配信映像内での QR コード活用は未実施だが、試合会場内ではグッズ販売や投票企画で活用事例がある。
- ③ 井上選手の試合は非常に見ごたえがあるビッグコンテンツになっている。ライブコンテンツは先が見えない面白さがある。スポーツ配信は地上波から有料配での提供に変わってきており、ドコモとしてもしっかり押さえていくべき。
- ④ アイキャストではボクシングの伝送業務を受託しているとのことだが、アイキャストの新たなビジネスモデルの一つになると考えているか。NTT グループの強みの部分なのでがんばってもらいたい。
⇒その通りで、非常に大きな案件でもあるのでありがたい。
一方で、社会的にも非常に大きな影響を持つ案件でもあるので、ミスの無いように慎重に注力しながら取り組んでいる案件でもある。

(2) 女優めし

- ① 「孤独のグルメ」的要素とお店紹介の組み合わせを評価。グルメ番組は今後も制作していく予定はあるか。
⇒前回審議番組のラーメンDも続編があり、イベント開催も含めて検討していく。
- ② アメリカには類似番組が少なく、日本独自のフォーマットとを感じる。ドラマとグルメ紹介が自然にミックスされており面白い。海外にこのフォーマットをどう展開できるか検討するのも良いのでは。
- ③ 実在店舗の活用や主演女優の固定ファンがいるため視聴率は良さそう。また、SNSを中心とした「聖地巡礼」が視聴者参加型企画のようになっていて、それも効果を高めていると感じる。
- ④ 日本の文化や食を広める一環として、このような番組を使うのも良いのではないか。今後のアイキャストの番組制作の方針を可能な範囲で教えてほしい。
⇒番組制作は、番組提供事業者や放送局と協業していく形を想定している。
また、制作して終わりではなく、イベントやグッズ販売などIPを活用した番組連動施策もセットで検討を進めている。

以上